

(1) 特別課題研究

釉薬テストピース及び釉薬データベースの活用 (5/8)		No. 7
釉薬データベースを活用した新規な重ね掛け釉薬の開発 (1/1)		
研究機関/担当者	瀬戸窯業試験場	光松 正人、長谷川 恵子
研究の概要	研究の内容	産総研より利用許諾を受けたデータベース拡充作業の継続及びこれらを活用した技術支援の展開と、研究課題の発掘、具体化を図る。本年度は、釉薬の重ね掛けについてデータベースを活用した研究を行い、身近な釉薬を用いた斬新な表情の重ね掛けを開発し、産地企業への普及を図る。
	研究の目標	釉薬データベースの拡充として、釉薬テストピースデータ約2,500件、台紙データ約1,000件の入力を行う。また、部分的な重ね掛け、全面的な重ね掛けの2方法について、効果的な釉薬の組み合わせをそれぞれ5種類以上を目標とし、テストピースを用いて焼成試験を行う。
	備考	[県] あいち産業科学技術総合センター管理運営事業費

(2) 経常研究

窯業原料における可塑性評価の実用化研究 (3/3) 各種粘土における可塑性評価の実用化 (1/1)		NO. 18
研究機関／担当者	瀬戸窯業試験場	長田 貢一
研究の概要	昨年度迄に引き継ぎ、蛙目、木節以外の国内外の粘土を対象とし、機器分析及び既存法による可塑性の評価とシンクロトロン光を用いたX線回折による可塑性の評価（ヒンクレイ指数）を行う。可塑性を数値化すること、さらに可塑性の高い粘土から可塑性の低い粘土まで総括的に評価できるかどうか検討する。	

瀬戸窯業試験場所蔵デザイン研究試作品等の有効活用に関する研究 (2/3) 研究試作品デジタルアーカイブの構築 (2/2)		NO. 19
研究機関／担当者	瀬戸窯業試験場	長谷川 恵子、光松 正人
研究の概要	瀬戸窯業試験場所蔵のデザイン、製品開発関連の研究試作品について、産地業界の製品開発や製品デザインに有効活用するために、製作年度、研究テーマごとに分類、整理し、台帳を作成するとともに、試作品の画像や現物を簡易に閲覧できるよう、試作品の画像と情報を取りまとめてデジタルアーカイブを構築する。	